

# 農業



令和6年4月号  
会誌 No. 1715

## 目次

### 巻頭言

3,000年続く技術……………馬場 正 3

### 論壇

温暖化に対する日本農業の適応……………堀江 武 4

### 農業懇話会

農村政策としての集落排水事業のこれまでとこれから……………仲家 修一 6

### 農事功績者座談会

ナス・キュウリの輪作体系の確立と企業的経営の実現……………中筋 博行 21  
現地指導者のコメント……………畑中 啓佑 28  
意見交換…………… 29

### 食を楽しむ

創造力と食育……………吉川 雅子 36

### 研究の最前線

東日本大震災は被災地の植生にどのような影響をもたらしたか…成澤 朋紀 37  
—人工衛星データによるアプローチ—

### 農業・農村の現場から

住宅街の中の畑と庭先直売……………佐藤 忠恭 47  
—高齢化する都市の食料品アクセス—

### 世界の農業は今

品種保護をめぐる世界の動き……………長野 暁子 52  
—新しい時代の UPOV の電子出願ツールと国際協力—

## 私の経営と志

三重県鈴鹿市で水稻・小麦・大豆栽培……………西村 直也 58  
—おむすびを通じて日本食を世界に広めたい—

## 農家の気持ち

芋と家族と農業経営……………中瀬 健二 60

## 東京農業大学収穫祭から

ミツバチの世界への小さな扉……………ミツバチ研究会 61

## 表彰

令和5年度大日本農会賞の受賞者…………… 65  
第62回全国青年農業者会議プロジェクト発表・  
農業青年の意見発表等受賞者…………… 69

## 統計情報

2023(令和5)年産春植えバレイシヨの作付面積, 収穫量および出荷量… 71

## 農政情報

…………… 72

編集部から…………… 72

令和5年度「飼料用米多収日本一」受賞者…………… 73

大日本農会だより…………… 74

会誌『農業』に関するアンケート

### 表紙写真：シリーズ日本農業遺産

#### 「東稲山麓地域」の風景（岩手県奥州市前沢生母地区）

東稲山麓地域（一関市舞川，奥州市生母，平泉町長島）は，東稲山を中心とした山々，山麓に展開する集落と棚田，その下を流れる北上川と低平地に広がる水田の風景が地域の象徴として昔から親しまれています。

地形的な特徴から，低平地では洪水害，山麓地では干ばつなど，自然災害が頻発したため，地域の農家は，約300年前から山麓地と低平地の両方に農地を分散所有することで，自然災害の影響を最小限に抑えながら土地に合わせた営農を行ってきました。

山麓地では自分たちの食料を，水害リスクがある肥沃な低平地では古くは麻，桑や菜種，昭和以降は米や麦・大豆等を栽培するなど時代に合わせた複合農業が行われてきました。

また，生活と営農に必要なため池や森林は，集落や組合が共同で維持管理するなど，複数の自然災害をリスク分散する独自の農林業システムを構築し，これまで継承されています。

（写真および文：東稲山麓地域農業遺産推進協議会事務局 川守田 真紀）